事例２

○○幼稚園食育指導案

１　ねらい

・幼児と保護者の「食」に関する意識を高め、子ども達が健全な生活を送れるようにしていくため、視覚的に訴えるものや具体的な食体験活動を行う。

２　準備物

(1)　幼稚園で

・炊飯器　１台（１時１５分過ぎに炊きあがったごはん）→ご飯を分けるための小皿
・ボール（米とぎ用）
○パソコン・プロジェクター・スクリーン

(2)　栄養教諭が持参していく物

・米（米とぎ用）・するめ（親子で小１袋）・ヨーグルト（親子で１ケ）
・エプロンシアター・食育君人形・３色ボックス・食べ物数種類
○ワークシート・配布資料

３　学習過程

幼児・保護者　　（Ｔ１：幼稚園教諭　Ｔ２：栄養教諭）

段階	学習活動・内容	時間	Ｔ１	Ｔ２	○教師の支援・配慮　※ 評価
つかむ	１　めあてをつかむ 食べもののひみつをさぐろう	２	○		
深める	２　親子で食育体験をする。 (1)　手を洗う。 (2)　米とぎをする。 (3)　かむ体験・炊きたてご飯のおいしさを知る。 ・ごはん・するめ・ヨーグルト　を実際にかんでみる。 ・かんだ回数・かんだ後の感想　を記入する。	15	○	○	○親が来ていない子への支援をする。 ・数班に分かれて（ボール数で）行う。 ・炊きたてご飯のおいしさを、体験させる。 ・かむことの大切さを体験させる。
	３　食べ物のひみつを知る。 (1)　３色ボックスから食品を取り出す。 ・ 信号機と同じ、３色であることを知る。	10	○	○	○ 食べ物は働きによって　３群に分けられることを知らせる。
	(2)　食べ物の体のゆくえを知り、最後にうんちになることを知る。 ・ 元気なうんち（バナナうんち）の食べ物のひみつを知る。			○	・ エプロンシアターで体の中をイメージさせる。（口→胃→腸）
	(3)　食育君で３つのスイッチを確認する。 ・脳のスイッチ ・体のスイッチ ・うんち（胃腸）のスイッチ			○	・ ３色スイッチ（赤・黄・緑）で、体が元気になることを確認させる。 ※　食べ物のひみつ（かむこと・３色分け・元気なうんこのひみつ）が、　理解できたか。
まとめる	４　本時のまとめをする。	３	○		○　本時の学習内容を振り返らせ、親子でわかったことを話し合う。